

## 外国人に愛されたちりめん本

織物の縮緬(ちりめん)のような風合いを持った和紙を使用して作られているちりめん本は、意匠を凝らした極彩色の大和絵に、英語やフランス語、ドイツ語などさまざまな国の言語による文章を配した愛らしい書物です。

日本昔話のシリーズが有名ですが、他にも日本の文化や歳時記を記した単行本やカレンダーなど、多様な出版物が明治中期から昭和中期にかけて作られました。

ちりめん本が誕生した頃、ヨーロッパでは浮世絵の影響によるジャポニズム文化の最盛期であり、海外から日本に来た人々のお土産として人気を博しました。また、海外へ輸出されたり、海外の出版社と共同で出版されたりもしました。

現存するちりめん本の7~8割が海外にあると言われていています。国内で見かける機会は多くありませんが、出版文化史や日本文化史、版画史などの面から、近年注目が高まっています。

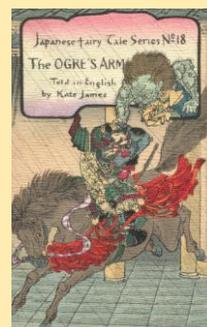
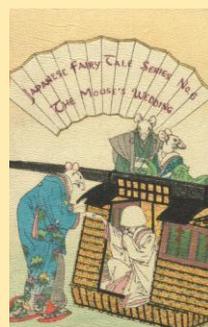
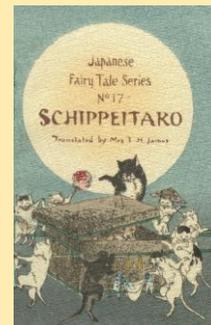
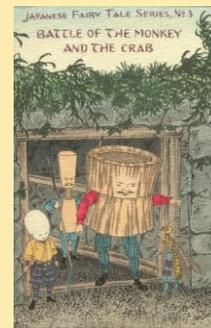
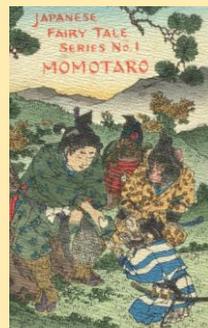
千代田Web図書館では、27タイトルのちりめん本を閲覧することができます。



<https://www.d-library.jp/chiyoda/>

千代田Web図書館は、千代田区立図書館が運営する電子図書館です。

CHIYODA PUBLIC LIBRARY



Japanese Fairy Tale Series <日本昔話シリーズ>ちりめん本

出版年1917~1955年

左上から、『桃太郎』『舌切雀』『猿蟹合戦』『浦嶋』『八肢大蛇』『竹篋太郎』

『鼠の嫁入り』『羅生門』『かちかちや満』すべて千代田区立図書館蔵

谷折り



目安線



谷折り

本の厚さに応じて、<sup>Ⓑ</sup>の目安線を折る位置を調整してください。

目安線



中心線



谷折り

目安線



本の厚さに応じて、<sup>Ⓑ</sup>の目安線を折る位置を調整してください。

目安線



谷折り

